

# 入居者の状況を分かりやすく

陽性者の居室が判別できるように入り口に目印をつける

例)陽性者の部屋の扉に  
花などの目印を付ける



プライバシーが守られれば  
扉に紙を貼るのも有効です

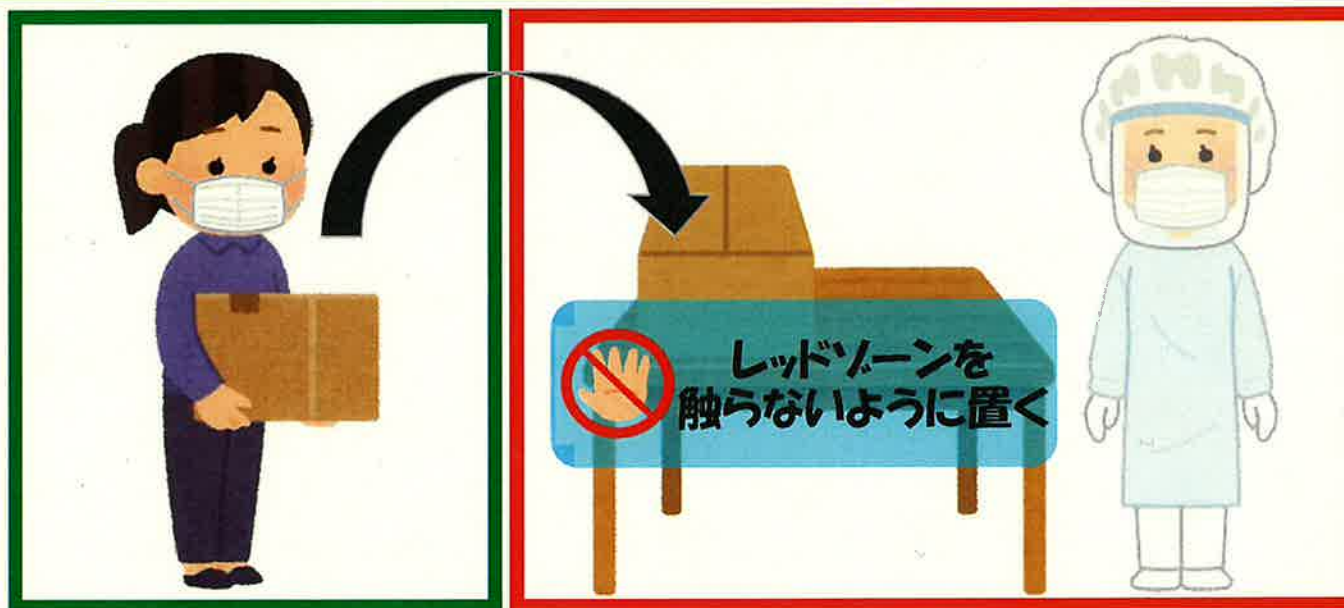
陽 十勝花美 様

発症日  
11/1

濃 帯広空男 様

健康観察期間  
~11/6まで

# グリーンゾーンからの物資の渡し方 (グリーン→レッドの時のみ適応)

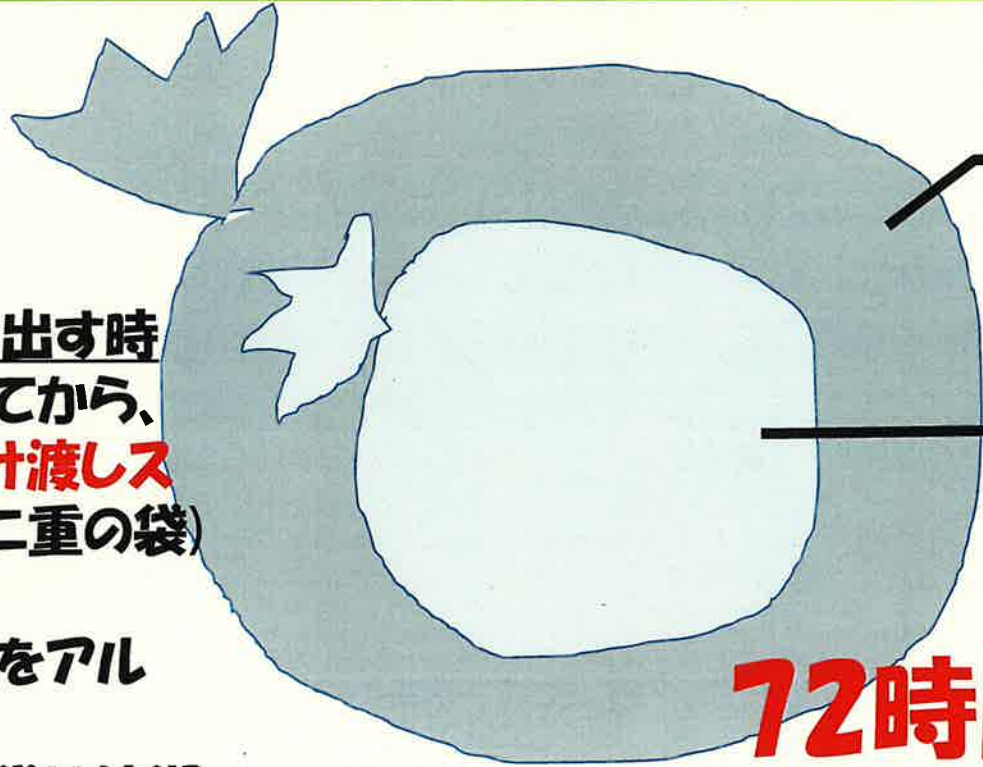


グリーンゾーンの人がテーブル(台車)に  
のせた物を**レッドゾーン**の人がとる

**!** 置くときに、グリーンゾーンの人**は**レッドゾーンの物に触れないようにする



# レッドゾーンからの物の持ち出し方 二重袋にする



レッドゾーンから  
グリーンゾーンに持ち出す時

- ①袋の外側を消毒してから、  
レッドゾーン内の受け渡しス  
ペースで新しい袋(二重の袋)  
に入れる
- ②二重目の袋の外側をアル  
コールで消毒する
- ③消毒された二重の袋は清潔  
扱いで、グリーンゾーンに出す

袋の外側は消毒する

一重目のなかに  
レッドゾーン  
から持ち出す物

**72時間放置後**  
**中のものをといだす**

# 衛生面でのルール

## 消毒について

高頻度接触部位  
→2回/日

居室→1回/日



## 床掃除について

掃除機は使わず、  
フローリングワイパーで  
埃を集めるようにとる

カーペットは  
粘着テープ



ウイルスが  
舞い上がって  
しまうよ!



## 手洗い・消毒

床にはウイルスが多くいるので、清掃物品に触れる場合は手洗い・消毒を行い、顔に触れない





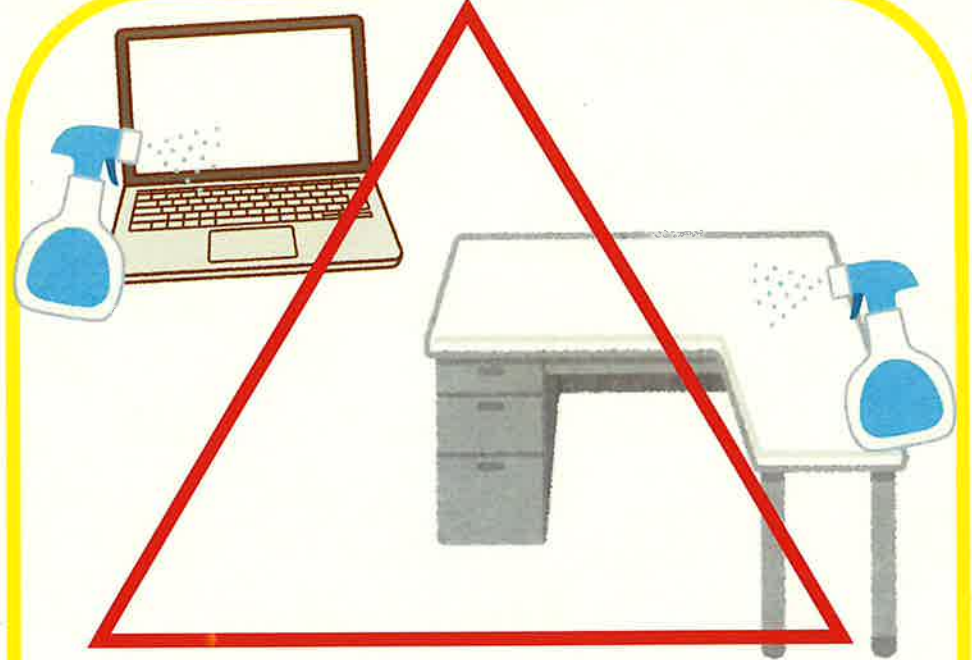
# 物品の消毒

ふき取り



アルコール等で拭き取ることで消毒の効果が高まります

スプレーのみ



スプレーで拭きかけるだけでは、消毒しきれない箇所があります

# 床の掃除の手順

①フローリングワイパーを使う

※レッドゾーン、グリーンゾーンそれぞれ専用のものを使用。

②水2ℓに対して洗剤10mℓの割合でビニール袋に

洗剤液を作り、ウェットシートを作り使用。

③一度拭いたところは往復せずに、一方通行で進む。

④終了した後はフローリングワイパーの柄を消毒する。

⑤全てが終了したら、手指消毒をする。

洗剤は市販の住宅用洗剤（界面活性剤）を使用します。

有効な界面活性剤かどうかは

厚生労働省のホームページで確認してください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html)

手袋をして作業  
してください！





# 床から拾った後は 手指消毒しよう！！

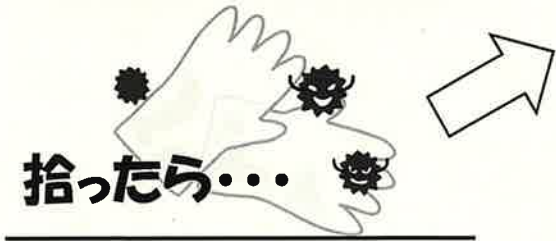
例)ボールペン



ペンは消毒する！



例)ティスポ手袋



手袋は捨てる！



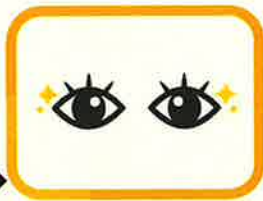
床から物を  
拾った後は  
手指消毒！

床はウイルスが多くて  
汚染されている場所です



# 手指消毒のタイミング

ウイルスを入れない



- 首から上にできるだけ手を持っていかない
- 目・口・鼻を触る前には必ず手指の消毒を行う
- 高頻度接触部位(スイッチ等)に触れたときも消毒を行う



# 動線上で手指消毒を実行しやすく

ドアノブやスイッチなど高頻度接触面の  
近くにアルコールを置き、  
手指消毒のしやすい環境をつくる



アルコールの設置数、  
場所を増やす！



# 職員間の感染を防ぐ

喫煙所



休憩中です





# ロッカー使用の注意点

## 特に退勤は気が緩みがちです

常にマスクを着用し、マスクを着用していても  
大きな声で会話をしない



入室、退室時に必ず  
手指衛生を実施する

# 休憩の注意点①賑やかにならないように注意

休憩室を使用するときは必ず  
ドアと窓を開け換気を  
しながら利用する



食事中は会話をしない



**黙食**

にご協力ください

歯磨きをする際は、  
人のいない方を向いて行う



歯ブラシは個人  
保管し共有部分  
に置かない

時間をずらし、  
少人数になるように

テーブルと椅子は使用後に消毒

トイレで行う場合は扉を開ける





## 休憩の注意点② 仮眠時の注意

同時に複数で**同じ部屋で寝ない**

**リネンを共有しない**

顔や身体にふれる

シーツ

枕カバー

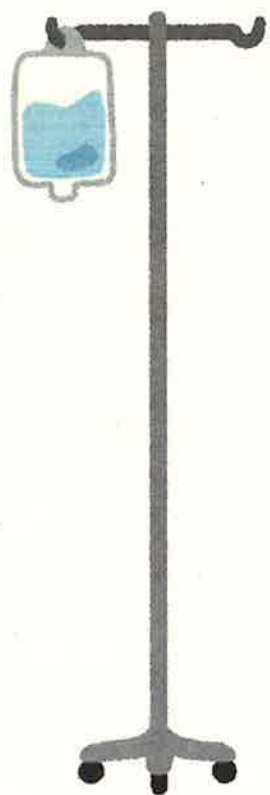
タオルケット などは

個人で持参し毎回持ち帰る



# 施設内療養者の支援として 事前に確認・準備しておくこと①

かかりつけ医や協力医療機関に  
抗原検査の判定や、受診・往診、処置、  
施設内療養中の薬の処方や約束指示など  
をもらえるように相談





## 施設内療養者の支援として 事前に確認・準備しておくの良いこと②

夜間や休日、いつでも誰でも対応できるように全職員の理解が必要

ゾーニングパターン、対策開始時のイメージ共有

連絡体制・役割分担・手順・動線の確認、シミュレーションの実施

発生時(疑い例も含む)のフロー作成

PPEの着脱に慣れておく

医療体制を踏まえ、陽性者の医療にかかる意思を  
どこまで望むのか本人・家族へ確認



一人ひとりの**基本の感染対策**の理解が重要です



# 感染対策は入居者のリスクを 総合的に考えて検討する

COVIDに感染しても、再びいつもの  
生活を取り戻せるように

できる限り入居者の精神身体活動  
が保てる方法を、施設全体の状況  
に合わせて都度ご検討ください

